

▼アドセトリス点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 プレンツキシマブベドチン (遺伝子組換え) Brentuximab Vedotin (Genetical Recombination) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [微小管阻害薬結合抗 CD30 モノクローナル抗体]

【単位】 ▼50mg/V

【常用量】 1回 1.8mg/kg 体重 (適宜減量), 適応により 2~3 週間毎

【用法】 30 分以上かけて点滴静注

■注射用水 10.5mL で溶解し, 必要量を 0.4~1.2mg/mL となるように生食または 5%ブドウ糖注射液で希釈

■強く攪拌すると凝集体を形成するおそれがあるのでバッグを静かに回転させて混和

【透析患者への投与方法】 設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 重度の腎機能障害: 構成成分であるモノメチルアウリスタチン E (MMAE) の血中濃度が上昇するため減量を考慮し, 患者の状態をより慎重に観察し, 有害事象の発現に十分注意 (1)

【特徴】 CD30 は TNF 受容体 superfamily に属する膜貫通型受容体の糖蛋白で, ホジキンリンパ腫の Reed-Sternberg 細胞と未分化大細胞リンパ腫およびその他のリンパ増殖性疾患細胞表面での発現が報告されている。本剤は, CD30 に対するモノクローナル抗体と抗悪性腫瘍剤の複合体である。CD30 に結合し, 細胞内に取り込まれた後, リソソームにより分解され, MMAE が細胞内に放出されチューブリンの形成を阻害して細胞周期が停止してアポトーシスを誘導する。

【主な副作用・毒性】 末梢神経障害, 感染症, 血球減少, 進行性多巣性白質脳症, infusion reaction, 急性膀胱炎, SJS, 腫瘍崩壊症候群, 劇症肝炎, 急性膀胱炎, 肺障害, 頭痛, 不眠, 消化器症状, 呼吸困難, 脱毛, 発疹など多数

【安全性に関する情報】 臨床的に有意な QT 延長を起こさない (Han TH, et al: Cancer Chemother Pharmacol 72: 241-9, 2013 PMID: 23719719)

【代謝】 MMAE は CYP3A4 で代謝 (1, Han TH, et al: J Clin Pharmacol 2013 PMID: 23754575)

【排泄】 糞便中に 72%回収 (1, Han TH, et al: J Clin Pharmacol 2013 PMID: 23754575) MMAE は P-gp の基質 (1)

【CL】 1.25L/day [iv] (1)

【t1/2】 4~7 日 (1)

【蛋白結合率】 MMAE68~82% (1)

【Vd】 6~10L/man (1)

【MW】 約 153,000

【透析性】 分子量が大きく除去されない (5) 資料なし (1)

【薬物動態】 日本人の PK は米国人と変わりなし (Ogura M, et al: Cancer Sci 105: 840-6, 2014 PMID: 24814862)

【主な臨床報告】 CD30 陽性リンパ腫への phase 1 study (Younes A, et al: N Engl J Med 363: 1812-21, 2010 PMID: 21047225)

【備考】 投与終了後はルート内を生食または 5%ブドウ糖でフラッシュ。治療期間中に Infusion reaction を 1 回でも発現した場合には premedication を行う (例: アセトアミノフェン 650mg, ジフェンヒドรามミン 25~50mg 経口もしくは 10~25mg 静注を 30~60 分前に実施)

【更新日】 20231128

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。